

江津市(島根県)の一体的実施

平成24年10月1日事業開始

市役所庁舎内に「ワークステーション江津」を開設し、江津市とハローワークにより地域求職者に対する就職支援等を実施

江津市

企業情報の収集・提供
生活支援相談の実施等

① 事業内容

- ・一般求職者に対する支援
企業情報・求人情報の提供、職業紹介・職業相談の実施、企業ガイダンスの開催
- ・生活保護受給者等に対する支援
生活支援相談の実施、チーム支援による職業紹介・職業相談の実施

② 協定・事業計画

- ・江津市長と島根労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を江津市と島根労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

③ 運営協議会

- ・江津市職員、島根労働局・浜田公共職業安定所職員、労使団体代表者をメンバーとする運営協議会を設置



国

職業紹介・職業相談の実施等

身近な市役所内に就職支援施設を設置し、市の産業創出・育成、定住促進及び生活相談に関する支援とハローワークの職業紹介とをワンストップで提供。

(1) 実施体制

江津市

- ・受付職員 1名
- ・産業支援コーディネーター 1名を配置

・生活保護受給者等に対する相談支援は、担当課職員がワークステーション江津へ出向く、又は来所者を担当課へ誘導することにより実施

国

- ・就職支援ナビゲーター 2名
 - ・職業相談員 1名を配置
- ・求人情報提供端末3台、職業紹介端末3台を配置

(2) 事業目標と取組状況(25年度)

	目 標 数	実績(10月末日現在)
利用件数 (うち新規利用者)	5,760延人 (1,200人)	3,858人 (512人)
企業情報の収集	120社	71社
企業ガイダンスの開催	2回	1回
就職件数 (うち生活保護受給者等)	360人 (15人)	292人 (7人)

「ワークステーション江津」による就職支援について

江津市長 田中 増次



平成24年10月1日、本市に「ワークステーション江津」を開所しました。本市においては、それまでの不況の影響で企業倒産や事業所の撤退などが続き、多くの離職者を抱えておりましたが、一方で江津市にあったハローワークは平成7年3月31日に閉鎖されており、以来、求職者の皆様は、隣接の浜田市にあるハローワークに行かざるを得ない状況にありました。

市としては、企業訪問による情報収集を強化し、また企業の体質強化や人材育成を図る事業を実施することで雇用を守る支援を行ってまいりましたが、求職者の皆様には、身近な場所でハローワークの専門スタッフによる職業紹介が受けられないというご不便をおかけしておりました。

このような中で、状況を打破することができたのが「ワークステーション江津」の開所であり、市の企業支援施策や訪問によって収集した企業情報を、ハローワークの求人情報と一体的に職業相談や職業紹介に活かすことで、以前にも増して求職活動の利便性を向上させることができました。

また、「ワークステーション江津」では、ハローワークと市のチーム支援による職業紹介のほか、生活支援相談や就職後の職場定着の支援、企業ガイダンスなども行っています。そして何より、市民の皆様には職業紹介サービスが江津市内で受けられるようになったことを大いに歓迎していただいております。

今後もハローワークとの一体的な取組みにより、一層効果的な就職支援ができるよう努めてまいります。

一体的実施事業による就職成功例

男性：60歳代 希望職種：製造職
直近の状況：正社員（建設職：会社都合離職）

① 抱える課題

- ・事業所閉鎖による離職。母の年金等で生活していたが、平成25年6月から生活保護受給者となる。
- ・就職に対する意欲は高いが、年齢・通勤面で厳しい状況。
- ・進むべき方向性も不明確である。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・印刷技術・建設関係の経験を生かし、製造職中心の就職活動を促し、本人もその方向で考えがまとまる。
- ・就職活動においての絞り込みや、応募書類作成指導、面接時の注意点などをアドバイス。
- ・相談課程において、積極的な面が伺えるようになる。複数の不調が続いたものの、粘り強く就職活動（窓口相談）を続けた。
- ・窓口における求人提案から、機械系の製造職への紹介に至った。

③ 結果

※支援期間 3ヶ月

- ・機械加工のパート社員として採用
- ・組立作業員 1日 5時間

④ 本人のコメント

- ・4ヶ月経過したが、欠勤等もなく順調に働いている。年齢的、体力的にも大変ではあるが、日々努力しており、今後も継続して就業したい。

男性：30歳代（障害者登録あり） 希望職種：接客
直近の状況：臨時職員（事務：自己都合退職）

① 抱える課題

- ・職業訓練（PC）終了後公共機関の臨時事務員として採用となるも仕事内容と周囲に馴染めず離職。
- ・就労意欲は高いものの、新しい職場で働くことへの自信をなくしている。
- ・本人はサービス業を希望するも、障害（右まひ）の関係から事業所理解が必要。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・相談を繰り返し、本人の明るい性格から介護の仕事を勧める。
- ・介護に大変興味を持つが、障害がある自分にこの仕事ができるのか不安があったため、職場見学、障害者チャレンジ実習を実施した。
- ・個別求人開拓により求人を受理。紹介に至った。

③ 結果

※支援期間 1ヶ月

- ・デイサービスの介護職員として採用
- ・フルタイムの契約社員（年度更新制）

④ 本人のコメント

- ・まさか自分が介護の仕事に就くとは思っていませんでしたが、毎日充実した日々を送っています。他のスタッフの協力を得ながら、精一杯頑張りたいと思います。